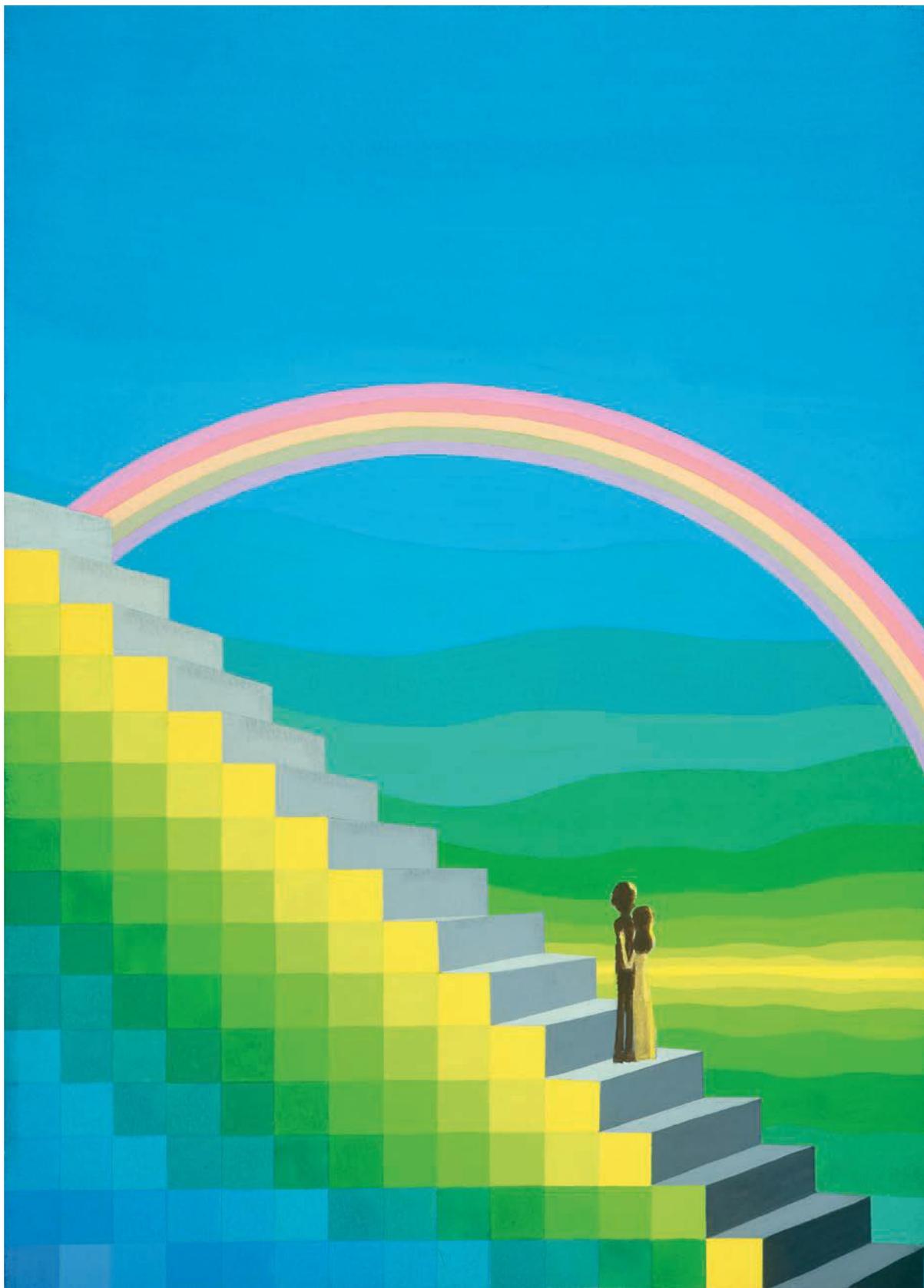


# やなせたかしの時代・大正の夢は続く



やなせたかし《階段の途中ですこしやすんで虹をみてみよう》雑誌『詩とメルヘン』1982年3月号表紙原画  
©やなせたかし (公財) やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団蔵

2025年6月7日(土)→7月21日(月・祝)

場 所 香美市立美術館

開館時間 9:00~17:00 (入館は16:30まで)

休 館 日 毎週月曜日(7月21日は開館し、翌日休館)

入 館 料 一般400円(20名以上の団体200円)、高校生以下無料  
割引等、料金の詳細についてはHPをご覧ください。 <https://www.city.kami.lg.jp>

関連企画 館長または学芸員による作品解説

会期中毎週日曜日14:00~ 展示室にて開催 ※入場料要



高知 ものがわエリア観光博  
ものへすと

主催/香美市立美術館

協力/公益財団法人やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団

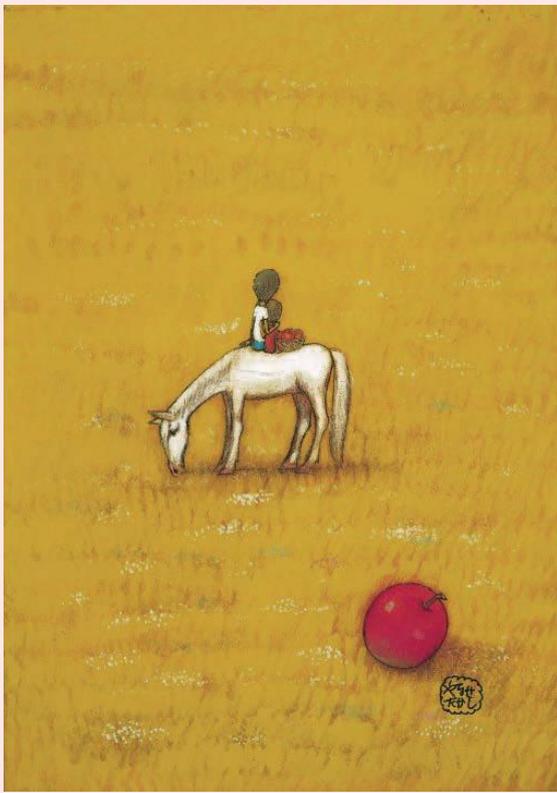
後援/高知新聞社・朝日新聞高知総局・毎日新聞高知支局・読売新聞高知支局・NHK高知放送局・RKC高知放送・KUTVテレビ高知

KSSさんさんテレビ・エフエム高知・高知シティFM放送・KCB高知ケーブルテレビ・KCTV香南ケーブルテレビ



香美市立美術館  
KAMI MUSEUM OF ART

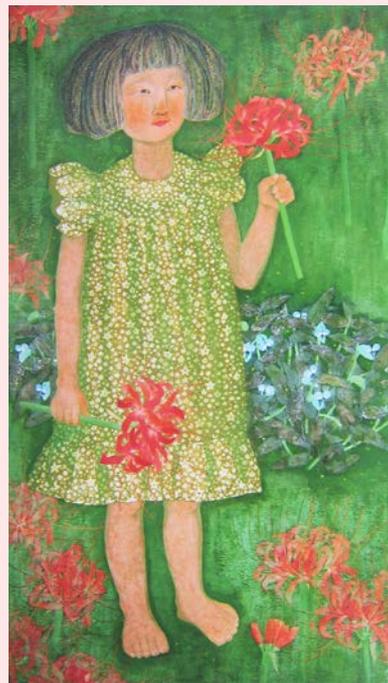
〒782-0041 高知県香美市土佐山田町262-1プラザ八王子2F



やなせたかし『いつのまにか黄色い草原の秋の号』  
雑誌『詩とメルヘン』1973年10月発行Vol.3表紙原画  
©やなせたかし (公財) やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団蔵



山本茂一郎《台湾風景》 制作年不明

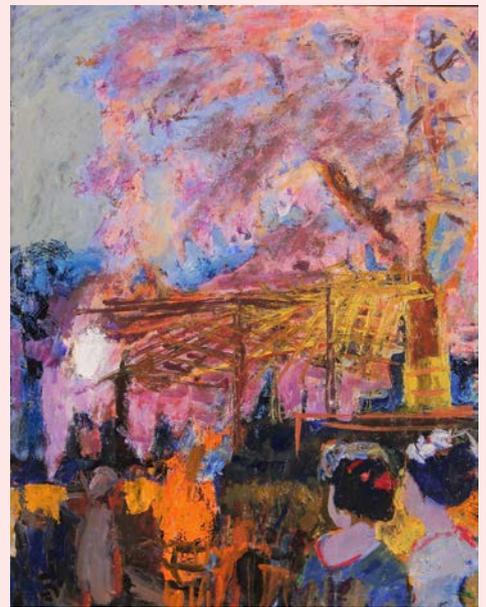


山本梅尾《曼珠沙華》(部分) 2006年

やなせたかしは大正8年に生まれ、大正時代の自由な空気の中で成長し、世界大戦や高度経済成長期などの戦後日本の歩みの中で自身の生きる哲学を磨いてきました。やなせと同時代を生きた画家たちの収蔵品とやなせの作品を合わせて展示し、大正時代以降の世の中の歩みと彼らの画業を紹介します。

# やなせたかしの時代・大正の夢は続く

2025年6月7日(土) ↓ 7月21日(月・祝)



上島一司《夜桜》 1982年



高崎元尚《作品(魚)マンボウ原画》 1956年



## 【交通案内】

- JR土佐山田駅下車 徒歩約7分
- 高知自動車道南国ICからあけぼの街道経由 車で約15分
- 国道195号線沿いの県立山田高等学校東側の信号を北進、八王子宮の西隣
- 高知龍馬空港より車で約15分

〒782-0041 高知県香美市土佐山田町 262-1 プラザ八王子 2F  
TEL: 0887-53-5110 FAX: 0887-53-5498

KAMI MUSEUM OF ART 香美市立美術館